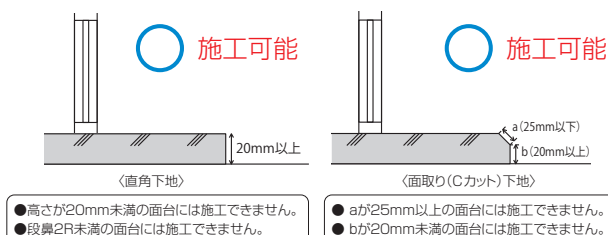




下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

1. 下地の確認・清掃

(1) 面台の規格を確認してください。



(2) ウレタン系塗膜防水材の塗りムラによる突起部がないように、平滑に仕上げてください。

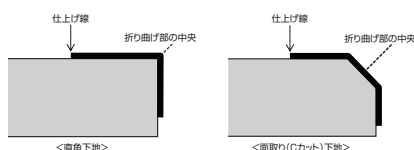
●塗りムラや突起部があると、面台ガードCの仕上がりが悪くなるだけでなく、歩行による面台ガードCの破損にもつながります。

(3) 面台ガードCを施工する部分の砂・塵埃などを除去してください。

2. 面台ガードCのけがき

(1) 面台形状に合わせて面台ガードCの折り曲げ位置を決め、平場側の貼り付け位置に仕上げ線を入れてください。

●面台ガードCの表面の3本線側が平場側、面台ガードCの表面の2本線側が立ち上がり側となります。



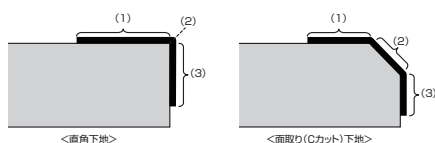
3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

(1) 既設の塗膜防水材などの上に施工する場合は、面台ガードC貼り付け位置に下地用プライマー液タキボンド#625(別売)を塗布し、20～30分間乾燥させてください。

●タキボンド#625を塗布する場合は立ち上がり部へも仕上げ線を入れ、液が垂れないように注意しながら塗布してください。

4. 面台ガードCの貼り付け・裁断

面台ガードCは以下の(1)～(3)の順に丁寧に貼り付けてください。



(1) 平場側の貼り付け・裁断

3本線側が平場側、2本線側が立ち上がり側となるように向きを確認し、両面テープの剥離紙を20～30cmずつ剥がしながら、仕上げ線に合わせて平場側のみ貼り付け、カットしてください。

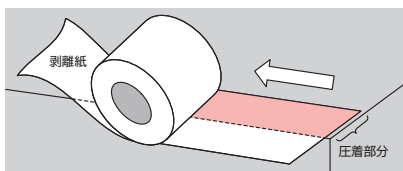
●軍手を着用し、右から左へ空気を送り出しながら、丁寧に貼り付けてください。(空気を巻き込まないように)

●立ち上がり側まで一気に貼り付けないように、注意してください。

●カットする際に下地の防水層を傷つけないように注意してください。(漏水の原因となります。)

●両面テープの剥離紙を剥がすと面台ガードCが収縮するため、カットしてから貼り付ける場合は、1%以上長めにカットしてください。

●一度貼った両面テープを再度貼りなおすことはやめてください。(剥離の原因となります。)

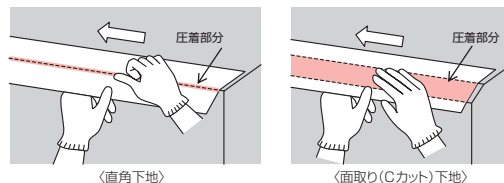


(2) 折り曲げ部(または面台カット部)の貼り付け

面台ガードCを下に引っ張りながら、反対側の折り曲げ部(または面台カット部)を端から順に押し、貼り付けます。

●軍手を着用し、右から左へ空気を送り出しながら、丁寧に貼り付けてください。(空気を巻き込まないように)

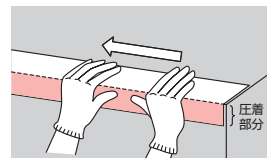
●立ち上がり側まで貼り付けないように、注意してください。



(3) 立ち上がり側の貼り付け・全体圧着

指の腹や手の平を使って、立ち上がり側を端から順に押し、貼り付けます。最後に全体をハンドローラーで十分に圧着してください。

●軍手を着用し、右から左へ空気を送り出しながら、丁寧に貼り付けてください。(空気を巻き込まないように)



5. タキストロン タフスリップタイプの張り付け

タキストロンと面台ガードCとの継目に、継目処理材の仕上げ代として3～5mmの隙間を設けて、タキストロンを張り付けてください。

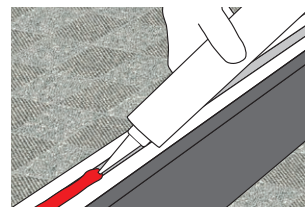
●詳しくはタキストロン タフスリップ施工方法をご参照ください。

6. 継目・端部処理

(1) タキストロンとの継目部分と、面台ガードCの端部全周をマスキングテープで養生してください。

(2) タキシール#600を塗布し、仕上げ用ヘラで仕上げてください。

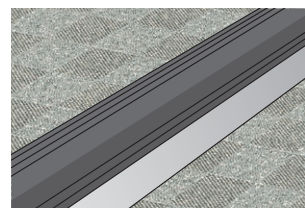
(3) 仕上げ後マスキングテープを直ちに取除いてください。



7. 養生

(1) 面台ガードCに浮きや膨れや上反りなどの不具合がないことを確認してください。

(2) 端部処理材が硬化するまで踏まないでください。(2～3日以上)。



ご 注 意

- バルコニーの面台以外の用途では使用しないでください。
- 面台ガードCの前垂れ部のカットは絶対に行わないでください。
- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工しないでください。
- ウレタン系塗膜防水材下地以外の下地には使用しないでください。
- 必ずタキストロン タフスリップタイプと組み合わせて使用してください。面台ガードCのみを使用した場合、段差ができ、つまずきの原因となります。
- タキストロン タフスリップタイプの色相は面台ガードCとの視認性を十分考慮し、選定してください。視認性が低い場合、踏み外し、転倒の原因となります。

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス・
注意
P.333